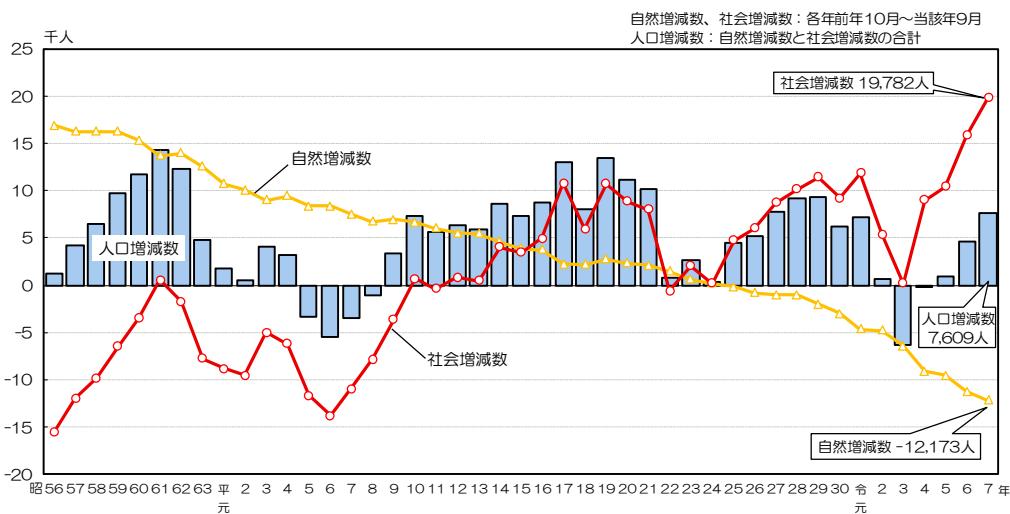


# 令和 7 年愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）「名古屋市の自然動態・社会動態」

- 令和 6 年 10 月から令和 7 年 9 月までの 1 年間の本市の人口動向をまとめたものである。
- 本資料における人口増減数は、自然増減数と社会増減数の合計である。
- 特に記載があるものを除き、日本人と外国人の合計である。

## 1 人口増減（本編 p1）

自然増減数、社会増減数及び人口増減数の推移



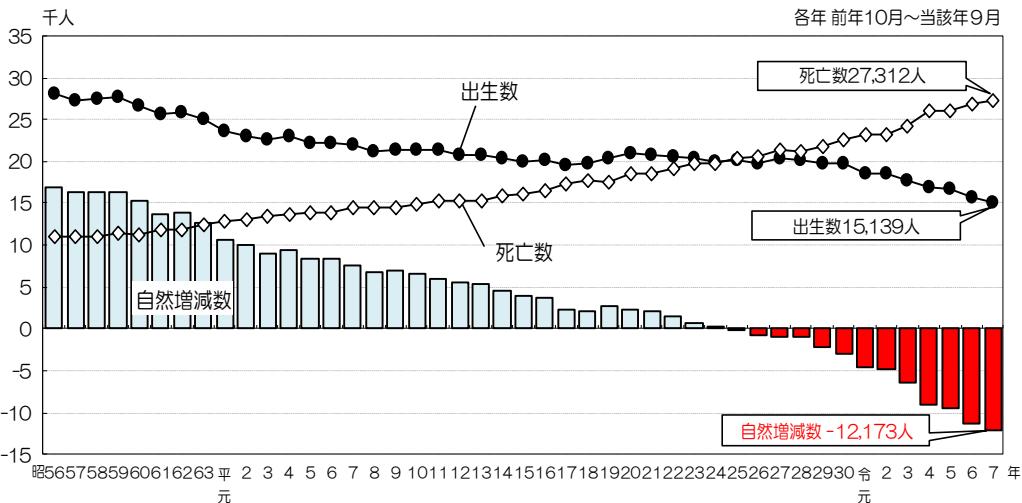
令和 7 年  
自然増減数 △ 12,173 人  
社会増減数 + 19,782 人  
人口増減数 + 7,609 人

**社会増の拡大**により  
人口増が拡大

(注) 社会増減数には、市外との移動のほか、市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減、平成 24 年 7 月の法改正に伴う外国人人口の取扱変更による数値変動）を含む。

## 2 自然動態（本編 p1）

出生数、死亡数及び自然増減数の推移



令和 7 年  
出生数 15,139 人  
(前年比 △520 人)  
死亡数 27,312 人  
(前年比 + 393 人)

出生数は**過去最小**  
死亡数は**過去最大**  
平成 25 年以降  
**13 年連続かつ**  
**過去最大の自然減**

### 自然増減数とは？

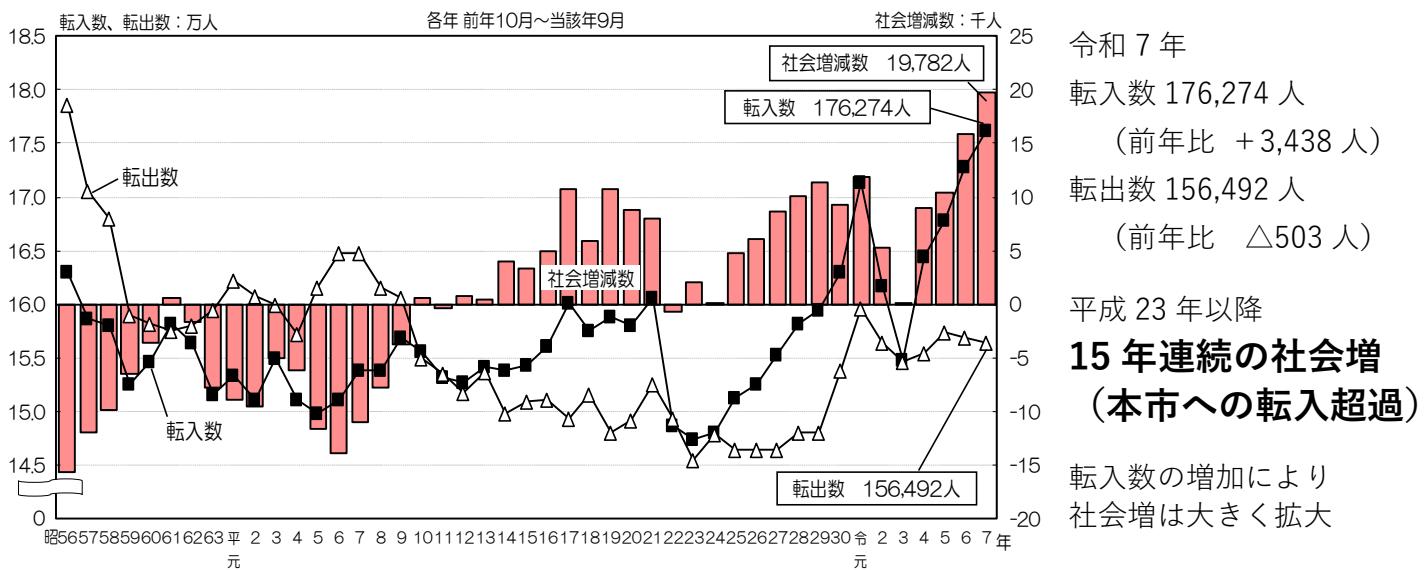
- 「出生数 - 死亡数」により求める。
- 出生数が死亡数より多いとき「自然増」、またその逆を「自然減」という。

### 社会増減数とは？

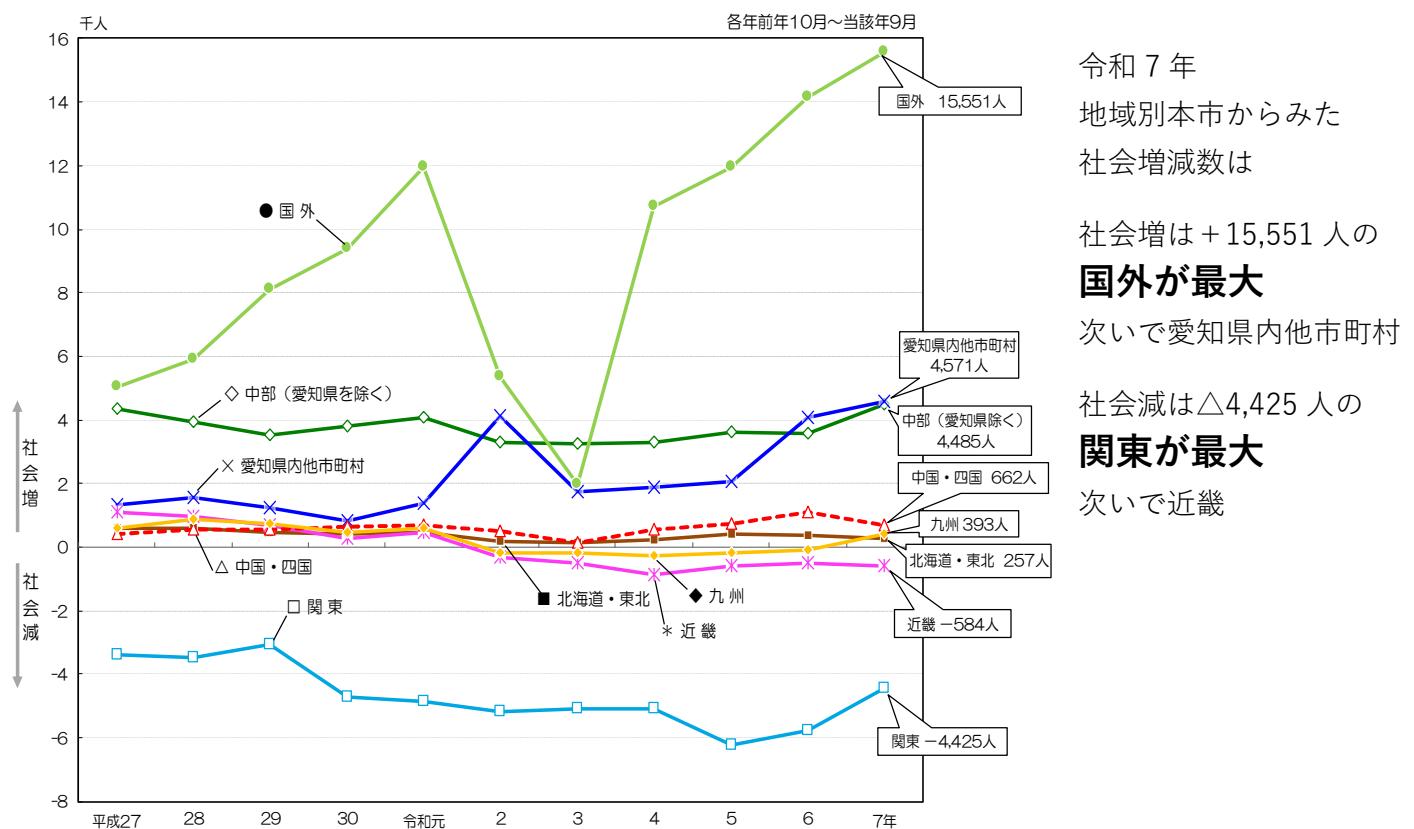
- 「転入数 - 転出数」により求める。
- 転入数が転出数より多いとき「社会増」、またその逆を「社会減」といい、それぞれ「転入超過」、「転出超過」ともいう。

### 3-1 社会動態（年次推移）（本編 p3）

転入数、転出数及び社会増減数の推移

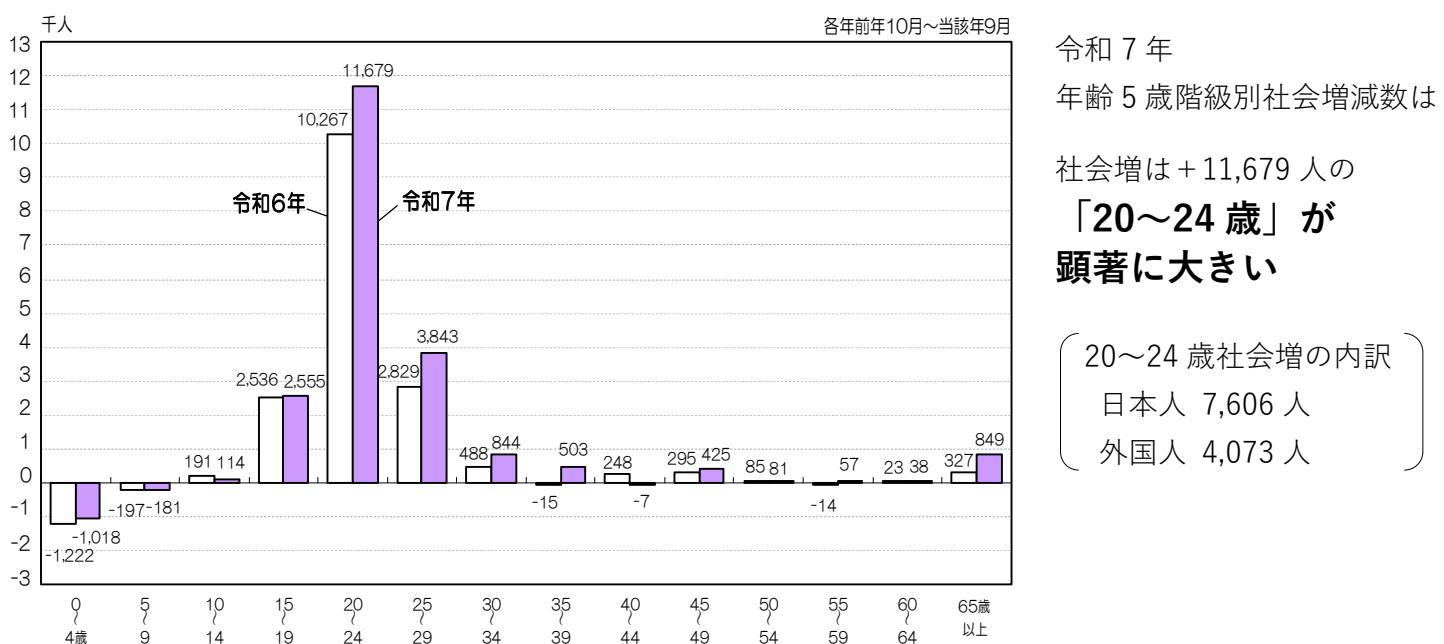


### 地域別本市からみた社会増減数の推移



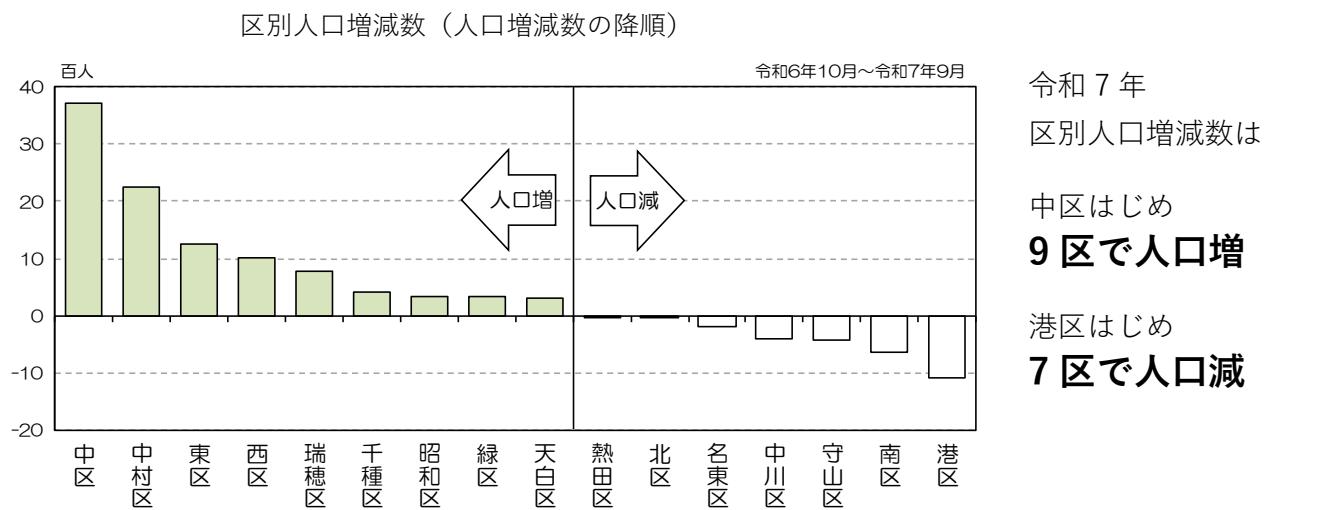
### 3-3 社会動態（年齢階級別）（本編 p7）

年齢5歳階級別社会増減数（令和6年と令和7年の比較）

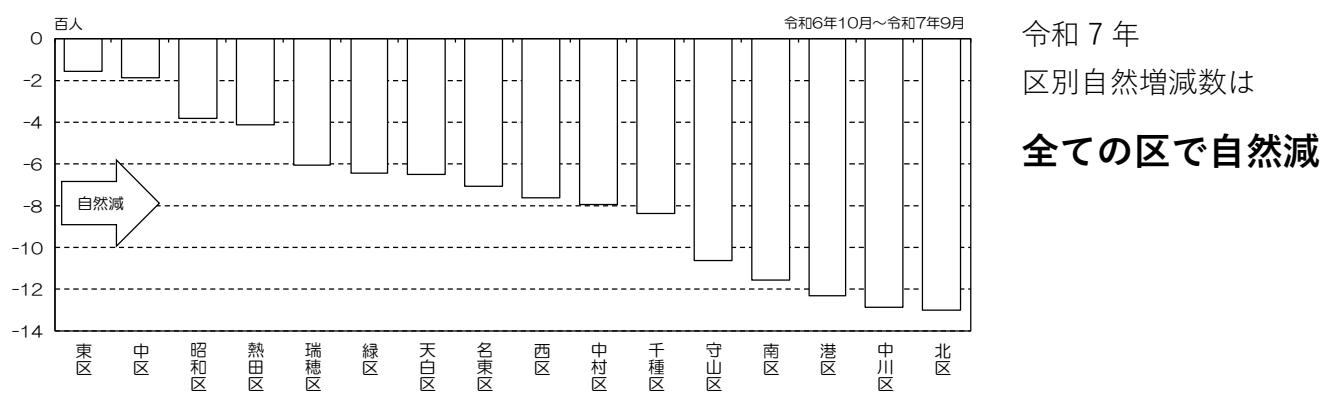


(注) 市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

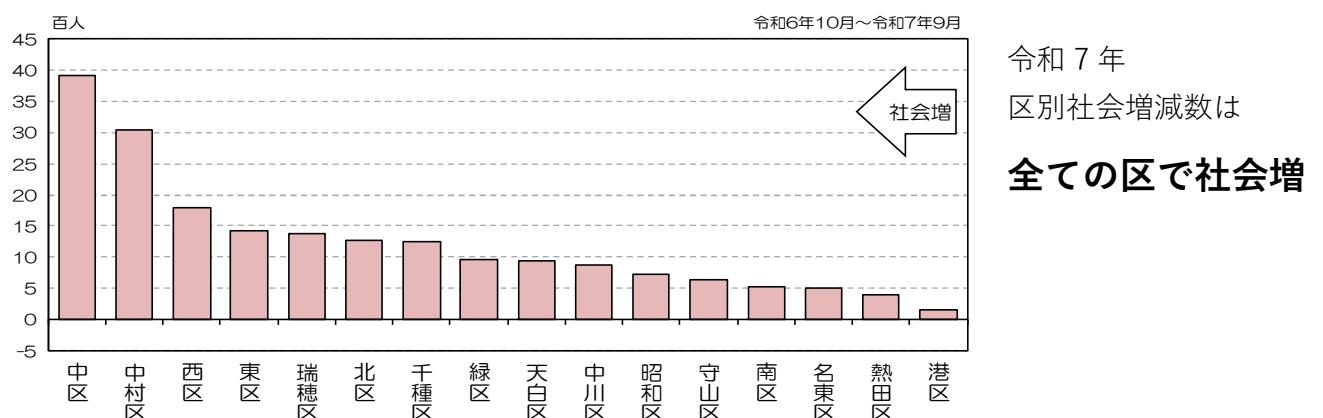
## 4 区別動向 (本編 p11)



### 区別人口増減数の内訳① 区別自然増減数（自然増減数の降順）



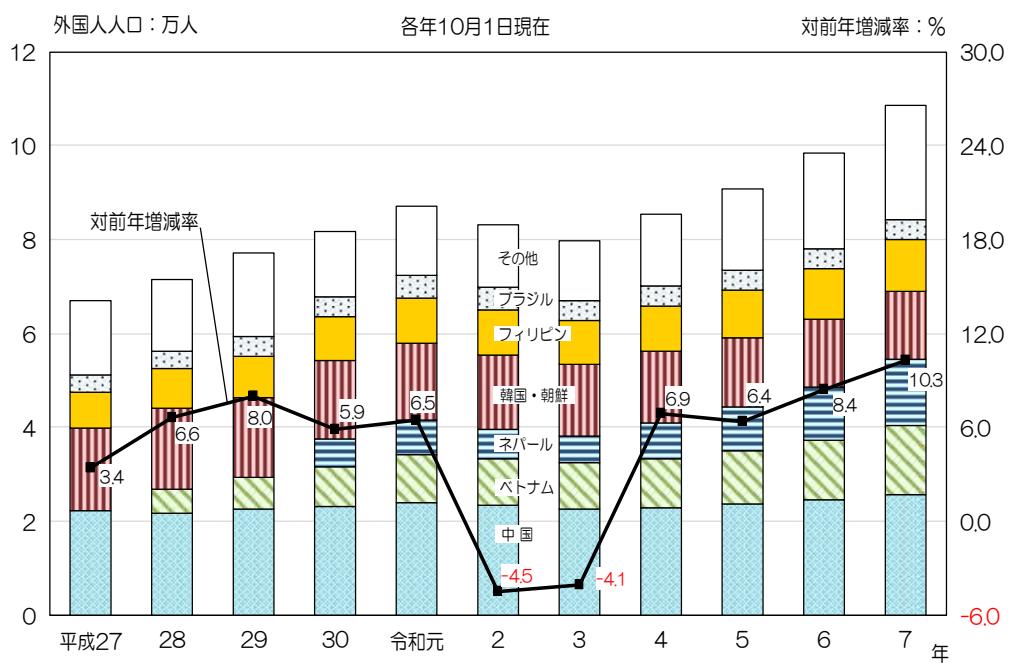
### 区別人口増減数の内訳② 区別社会増減数（社会増減数の降順）



(注) 社会増減数には、市外との移動のほか、市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

## 5 国籍・地域別外国人公簿人口 (本編 p14)

国籍・地域別外国人公簿人口及び対前年増減率の推移



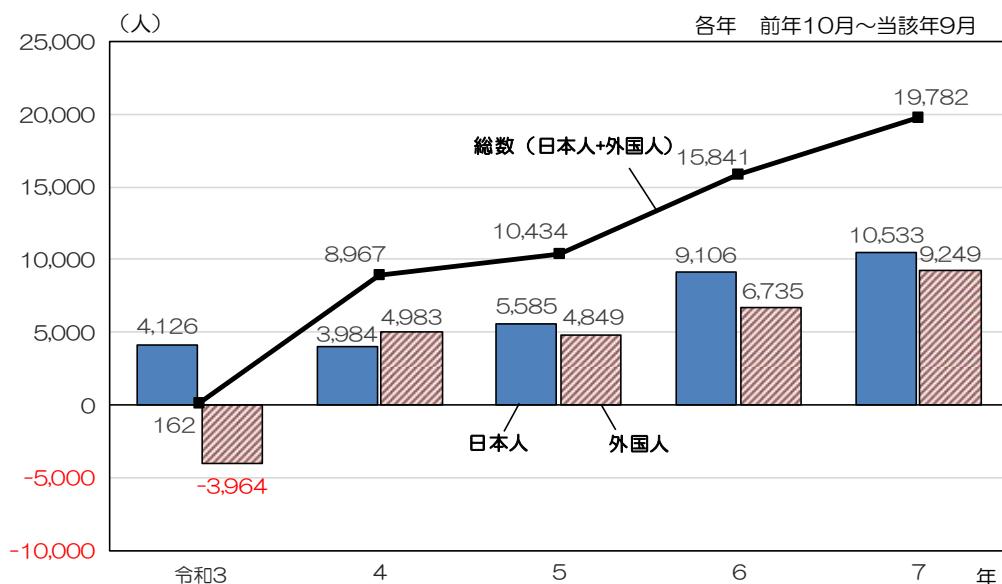
令和7年10月1日現在  
公簿上の外国人人口は  
**過去最大の108,480人**  
(前年比 +10,121人)

国籍・地域別では  
**中国が最多**の25,822人で  
外国人人口の**23.8%**を  
占める

前年からの増加数は  
**ネパール**が+3,099人と  
**最大**

## 6 社会動態の日本人・外国人別集計 (本編 p15)

社会増減数の推移 (令和3年～令和7年)



令和7年  
**日本人・外国人とも  
社会増は拡大**

日本人社会増減数は  
10,533人の社会増  
(前年比 +1,427人)

外国人社会増減数は  
9,249人の社会増  
(前年比 +2,514人)